

Contents

精密工学会誌

2026年5月 92巻5号 通巻1097号

特集 ウェット加工工程の基盤現象と先端応用技術

展望

■超精密表面計測が拓く固液界面プロセスの高度化と展望 有馬 健太……………347

解説

■半導体研磨後洗浄における PVA スポンジブラシの接触・変形解析と粒子排出性能
真田 俊之／小篠 諒太／檜山 浩國……………351

■蛍光信号による機械加工ウェット界面のナノインプロセス/オンマシン計測
道畑 正岐……………355

■半導体製造における放電加工技術—リードフレーム・封止金型加工と
GaN/SiC 基板スライス加工—
中川 孝幸……………360

■超短パルスレーザーが拓く完全固溶合金ナノ粒子合成
—レーザー誘起還元法の基礎と精密工学への展開—
稲 秀樹／福田 真一／黒田 陸斗／中村 貴宏……………364

■AFM および液中顕微鏡法によるウェットプロセスでのナノ粒子観測および剥離の動力学・
エネルギー解析 寺山 裕／カチョーナルルアン パナート
ブラットラー アラン／後藤 大輝……………367

■私の歩んできた道
エポキシ樹脂多孔質研磨パッド 連載第2回／全3回 谷 泰弘……………379

■グラビアとインタビュー 精密工学の最前線
世界初 CNC 式ワイヤ放電加工機のパイオニアが語る、超精密加工の未来へ……………343
西部電機株式会社 伊東史世弘／田崎 圭祐／井上 智輝
インタビュー：カチョーナルルアン パナート

■はじめての精密工学
はじめてのアーク溶接 荻野 陽輔……………373

■研究所・研究室紹介
千葉大学 大学院工学研究院 機械工学コース 加工物理学研究室 (CATs-lab.)……………377

- アフィリエイト通信……………381
- 会告……………告5-1
- 編集後記……………告5-10

- 編集委員
- 出版部会長 紀 旺 (慶 應 大)
- 委員 長 沢 英 樹 (工 学 院 大)
- 幹 事 伊 藤 幸 弘 (都 立 産 技 高 専)
- 副 幹 事 金 子 健 正 (長 岡 高 専)
- 委 員 今 井 正 芳 (荏 原 製 作 所)
- 上野原 努 (大 阪 大)
- 浮 田 芳 昭 (兵 庫 県 立 大)
- 江 口 雄 大 (日 産 自 動 車 大)
- 大 西 修 (宮 崎 大)
- カチョーナルルアン・
パナート (九 州 工 業 大)
- 喜 入 朋 宏 (ミ ッ ト ヲ)
- 木 下 裕 介 (東 京 大)
- 喜 藤 寛 文 (オ リ ン パ ス)
- 久 米 健 大 (夏 目 光 学)
- 毛 戸 康 隆 (日 立 製 作 所)
- 小 玉 脩 平 (東 京 都 市 大)
- 佐 藤 遼 太 (東 北 大)
- 佐 藤 健 太 (東 京 大)
- 神 保 康 紀 (明 治 大)
- 菅 洋 志 (千 葉 工 業 大)
- 武 井 良 憲 (産 総 研)
- 武 田 巨 平 (愛 知 工 業 大)
- 藤 大 雪 (大 阪 大)
- 中 島 省 吾 (牧 野 フ ァ イ ス 製 作 所)
- 永 田 毅 (明 治 学 院 大)
- 成 澤 宜 子 (埼 玉 大)
- 橋 本 洋 平 (金 沢 大)
- 長 谷 川 健 登 (神 奈 川 大)
- 平 田 祐 樹 (東 京 科 学 大)
- 溝 口 知 広 (山 口 東 京 理 科 大)
- 道 畑 正 岐 (東 京 大)
- 森 弘 樹 (キ ャ ノ ン)
- 山 口 大 介 (岡 山 大)
- 山 下 典 理 男 (DMG 森 精 機)
- 学 生 委 員
- 大 見 康 晟 (同 志 社 大)
- 高 畑 光 汰 (茨 城 大)
- 竹 村 光 太 郎 (埼 玉 大)
- 長 谷 川 健 登 (埼 玉 工 業 大)
- 平 井 悠 翔 (埼 玉 工 業 大)
- 前 斗 尚 (埼 玉 大)
- 前 山 笑 吾 (東 京 科 学 大)

- 次号予告
- 特集
- 「次世代加工システムにおける動的安定化技術」
工作機械に搭載されたびびり振動抑制機能
加工ナビとびびり抑制技術の紹介
雑音を立てない切削工具 (with silent)
不等ピッチ・不等リードカッタによるびびり振動の抑制
次世代加工システムにおける動的安定化技術や振動の利用
直動システムの動的シミュレーション技術と装置開発への展開
- グラビア&インタビュー
特許機器株式会社
- 私の歩んできた道
谷 泰弘 (3 回 目)
- 学生記事
総桐たんす ～想い出をつなぐ職人技～
- 研究所・研究室紹介
追手門学院大学 理工学部機械工学科
界面機能デザイン研究室

複製される方へ
精密工学会では、複写複製及び AI 利用に係る著作権を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。当該利用をご希望の方は、(社)学術著作権協会 (<https://www.jaac.org/>) が提供している許諾システムを通じてご申請ください。
尚、著作物の転載のような上記以外の許諾は直接本会へご連絡ください。

精密工学会は、日本学術会議から「日本学術会議協力学術研究団体」の称号を付与された団体です。

公益社団法人 精密工学会

論文

- 軽量マルチモーダルモデルにおける事前学習とモデル層深度が下流タスクに与える影響評価 ————— 385
梁瀬和哉, 表 英輝, 土田裕登, 加藤邦人

- スクエアエンドミルを用いたコーナ加工の加工精度向上に関する研究
—同時切削刃数と同時切削刃長さの一定化による切削抵抗の変動抑制の効果— ————— 391
石山竜丸, 田牧賢史朗, 澤 武一

上記論文は J-STAGE (科学技術情報発信・流通総合システム) でも会員・会員外を問わず、公開されています。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjspe/-char/ja>